



【今号の1枚】

ルワンダで昨年完成した無償資金協力事業「ルワマガナ郡灌漑施設改修計画」の工事現場での手洗いの様子です。

この手洗い活動は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、施工業者による感染予防対策の一環として行われました。簡易の手洗い所を現場に設け、1日5回（作業開始前、午前休憩時、昼食時、午後休憩時、作業終了時）の手洗いが励行されました。手洗いの他にも、密を避けての作業、マスク着用、体温測定など、工事に従事する作業員全員の実施状況を毎日記録し、健康管理が行われました。

引き続き、皆様からの手洗い啓発活動の写真を大募集いたします！

（写真提供：飛鳥建設株式会社）



ザンビア PPAP2020 で楽しく正しく手洗いを実践

ザンビア事務所では2020年10月15日のGlobal Handwashing dayに合わせて、Community Empowerment Programのスキームで「手洗いソングを通じたルサカ市内の脆弱地域の子どもたちへの感染拡大防止活動」のプロジェクトを始めました。

これは2020年4月にリリースされたお笑い芸人ピコ太郎さんの手洗いソング PPAP2020 を使って、一緒に子どもたちが正しく楽しく手を洗うことを実践できるよう取り組んだ活動です。実際の活動は現地 NGO に委託しました。ルサカ市内の二か所の未計画居住区（コンパウンド）の集会場に周辺住民の子どもたちを集めて、ザンビアの有名コメディアンにも協力してもらい PPAP2020 を子どもたちと一緒にodorい正しい手洗いの方法を教えます。1回30分のセッションに約50人の子どもが参加し、2020年10月から2021年2月までの間に二地区合計約120回の活動を実施しました。活動に参加した子どもは6,000人以上に上ります。

ルサカ市内のコンパウンドでは2018年にコレラが流行し数名の死者も出したことがあるため、新型コロナウイルス感染症対策のみならず、さまざまな水因性疾患を予防するために、手洗いの習慣を身に付けることをこの活動を通して、子どもたちに伝えています。

プロジェクトの活動予算で手洗いタンク、水を消毒するための顆粒塩素、石けんを供与し、さらに活動に参加する子どもたちにはマスクを配布しています。また、井上きみどりさんの「正しい手洗い漫画」や PPAP2020 のポスターも印刷して参加者に配布し、家庭でも正しい手の洗い方を実践してもらうように働きかけています。活動に参加した子どもたちの保護者からは、以前に比べて手洗いを意識して行うようになったという声が届いています。さらには、本活動の15分間のドキュメンタリー番組を制作し、ルサカだけでなくザンビア全国にも波及するようにテレビでも放映しています。

手洗いはコロナ感染拡大の前にも後にも変わることはない日常生活における基本的な所作の一つとして、これからもザンビアの人たちにその大切さを楽しく伝え続けようと思います。

（ザンビア事務所 林 俊一郎）



現地コメディアンが PPAP2020 に合わせ、正しい手洗い方法を子どもたちへ教えています



手洗いタンクの前に並び、現地 NGO の指導を受けながら手洗いをする子どもたち

特定非営利活動法人日本ハビタット協会が実施しているケニア共和国ホームベイ県「スマイルトイレプロジェクト」では、各家庭へのトイレ建設と手洗い場の設置を進めています。不衛生な環境に起因する下痢や新型コロナウイルス感染症などの感染症予防にもつながります。

住民の手洗いの意識を高めるため、「世界手洗いの日」では啓発活動キャンペーンを行っています。多くの住民がイベントに参加してくれるよう、広報車両が音楽をかけながら村を回り参加を呼びかけます。2019 年は住民 152 名と小学校の生徒 90 名が参加、2020 年は新型コロナウイルス感染症予防を講じながら開催し住民 82 名が参加しました。イベントでは、手洗いの重要性を伝えるだけでなく、誰でもすぐに設置できる Tippy Tap の設置方法の指導もしています。また、人々に親しみやすくいつも目に付く啓発ツールとして手洗いを呼びかけるカレンダーを配布し、手洗い意識の向上を行っています。

これまで実施した地域では、手洗い場の普及率が 21%から 86%に向上し、1,331 世帯のうち計 1,149 世帯が通常の手洗い施設へのアクセスが可能になりました。



各家庭に設置が進む Tippy Tap



Tippy Tap のデモンストレーション（世界手洗いの日）



手洗い啓発カレンダー

(スマイルトイレプロジェクト 特定非営利活動法人日本ハビタット協会 篠原大作)

2021 年 2 月 19 日、健康と命のための手洗い運動プラットフォームの第 1 回目となる、「手洗い運動進捗状況と会員団体様ご紹介 セミナー」をオンラインで開催しました。参加者数は、プラットフォームの個人・団体会員、関係機関、大学、コンサルタント企業、JICA 等から約 100 名に及びました。

大阪大学大学院人間科学研究科 杉田映理 准教授から基調講演をいただき、プラットフォームの団体会員の皆様から手洗いに関する活動状況をご発表いただきました。また、JICA から本運動の活動状況についてご説明しました。質疑応答の時間では、本運動の今後の展開に関するご意見、ご要望が活発に出されました。

【基調講演】『たかが手洗い、されど手洗い？』

現在、新型コロナウイルス等の感染症予防のためには手洗いが重要と分かっています。しかし、わずか 160 年前の西洋医学では、伝染病の原因はミアズマ（瘴気）であるという説が信じられていたため、手に付着したもから感染することを突き止めて手洗いの重要性を訴えた医師ゼンメルワイスは病院を追放されたという、今では驚きのエピソードの紹介から講義は始まりました。そして、世界的に「石鹼による手洗い」に取り組み始めたのは 2000 年代前半頃からで、2008 年に「世界手洗いの日（10 月 15 日）」が制定され、2016 年の SDGs に「hygiene」、「handwashing facility」が盛り込まれたといった、「石鹼による手洗い」の国際アジェンダ化の歴史を説明していただきました。

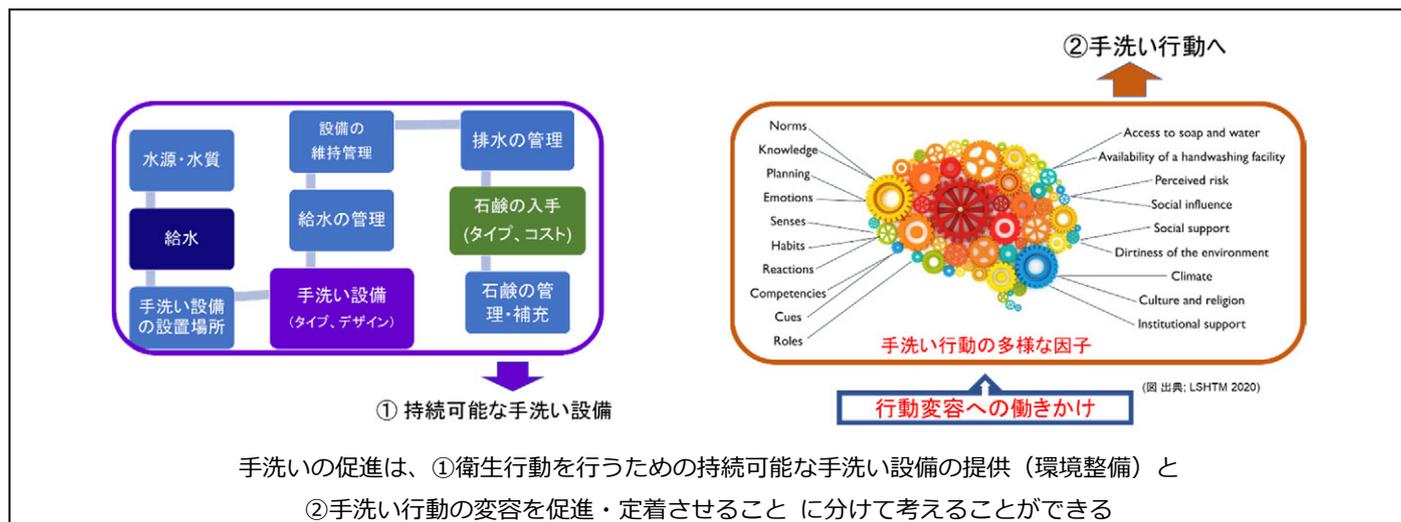
学校に手洗い設備へのアクセスがない子どもたちは全世界に 9 億人いると報告されており（WHO&UNICEF 2020）、手洗いへのハードルは高く、「たかが手洗い」とは言えない状況だといえます。

手洗いの推進は、「① 衛生行動を行うための持続可能な手洗い設備の提供（環境整備）」、「② 手洗い行動の変容を促進・定着させること」の 2 つに分けて考えられますが、どちらも複雑に様々な事象を含んでおり、一筋縄に進めて



杉田 准教授による基調講演

いけるものではありません。だからこそ、プラットフォームの場を通じてトライアルアンドエラーを共有することは重要であるといえます。



また、日本の手洗いの経験について、小学校での手洗い施設整備の工夫や行動変容への働きかけが長年行われてきたこと、コミュニティでの生活改善運動の中で手洗いの励行指導が行われたことを紹介し、この経験は日本固有のものであるとともに強みでもあると述べられました。

最後には、次の3つのことを伝えていただきました。

- ① 「石鹸による手洗い」は With コロナだけでなく、After コロナにおいてもポジティブな影響を与えられるのではないかと。
- ② 「石鹸による手洗い」推進は「長期システム」として考える必要がある。その際、日本の経験は強みとなる。
- ③ 手洗い推進はセクター横断で取り組む。

【会員団体さまからの報告】

本プラットフォームの会員となっている下記6団体の方々から、各団体の概要および手洗いに関する活動について発表していただきました。JICA 事業における途上国での手洗い普及等の取り組みや手洗い関連の製品、ソリューションのご紹介など、様々な方面から手洗い活動への取り組み紹介があり、今後の更なる手洗い推進や協働なども期待されます。

SATO Tap - 新しい衛生ソリューション
-コロナ禍におけるイノベーション-

コンパクトな設計
・コンパクトな設計により、設置場所を選ばず、設置が容易
・コンパクトな設計により、設置場所を選ばず、設置が容易

衛生面への配慮
・コンパクトな設計により、設置場所を選ばず、設置が容易
・コンパクトな設計により、設置場所を選ばず、設置が容易

低価格
・コンパクトな設計により、設置場所を選ばず、設置が容易
・コンパクトな設計により、設置場所を選ばず、設置が容易

現場のニーズに対応
・コンパクトな設計により、設置場所を選ばず、設置が容易
・コンパクトな設計により、設置場所を選ばず、設置が容易

株式会社 LIXIL

JICA 南スーダン圏上水道技援プロ
市民に対する啓発活動の強化

● 南スーダンの国、小児による心身の作
成、育成

● 小児の浄水用スタディーツール

株式会社 TEC インターナショナル

新型コロナウイルス感染症
水と手洗いで感染拡大を防ぐ

✓ 活動の支援（手話による手洗い促進動画など）

WaterAid

特定非営利活動法人
ウォーターエイドジャパン

公共水栓からの水汲み

セネガル圏地方給水

日本テクノ株式会社

濁った水しかない。電気がない。石鹸がない。
そんな過酷な環境にご提案

KT-POWDER と KT-WATER を混ぜての合わせ技
無機質系浄水用凝集剤 混合型非電解次亜塩素酸水(粉)

KT-Handwash/Powder

を手洗いで使用

株式会社カワイチ・テック

エチオピア

WaterAid

株式会社アースアンドヒューマン
コーポレーション

第5回目は株式会社カワイチ・テックさんを紹介します。

株式会社カワイチ・テック



◎団体概要

株式会社カワイチ・テックはあらゆる産業のプラスチックとゴムの原料を生産している企業です。2019年秋(2020年春再放送)にTBSメイドインジャパンで当社の製品KT-パウダー(浄水凝集剤)が「濁った池の水をキレイにする大作戦IN コロンビア」で濁った水を飲み水に変えコロンビアの水不足の過疎地域における新たなキレイな水の確保につなげました。また、次亜塩素酸水(新型コロナウイルスに対する代替消毒方法でNITE有効性評価)の製造販売を行っております。この2つの技術を混ぜて開発途上国の手洗い、感染症予防、健康の増進、公衆衛生の向上に貢献できないかと考えております。



◎手洗い運動



電気がない。濁った水しかない。石鹼もない。過酷な環境にぴったりの製品です。この製品はまず濁った水を約10秒で透き通った水にします。それだけではありません。次亜塩素酸水に変えてしまいます。この魔法のような水を作るのはいたって簡単。ペットボトルなどの容器に水を入れ当社のKT-ハンドウォッシュパウダーを入れ約10秒上下に激しく振るだけ。あとは泥が沈殿するのを待って沈殿したらフィルター等を利用して別の容器に入れれば次亜塩素酸水の完成です。この魔法の水でジャブジャブに手を洗えば新型コロナウイルスを不活化することが可能と考えており電気がない、濁った水しかない、石鹼もないそんな環境に一日でも早くご提供したい。

◎Webサイト

株式会社カワイチ・テックホームページ
<https://www.kawaichi.co.jp>
 手洗いサイト 作中

◎連絡先

成田工場 : 千葉県成田市南羽鳥570-46
 TEL:0476-37-1471 FAX:0476-37-1082
info@kawaichi.co.jp

株式会社カワイチ・テックさんより製品ご提案

当社は「混ぜる」ということを得意としており、プラスチックとゴムではないけれども「混ぜる」という技術を利用した隣接異業種として、色々な物を混ぜています。KT-パウダーに KT-ウォーター(粉)を加えることにより、次亜塩素酸水ができあがります。2つの製品を混ぜるという技術で、電気がない、濁った水しかない、石鹼もないという手を洗うことさえ困難な過酷な環境にぴったりの製品です。

(お問合せは株式会社カワイチ・テック様へお願いいたします)

※ JICA はカワイチ・テック様ご提供の情報を転載しているものであり、本製品を公式に推奨するものではありません。



無機質系浄水用凝集剤



混合型非電解次亜塩素酸水(粉)

◆健康と命のための手洗い運動プラットフォームに関するウェブサイト更新情報◆

- ① ウォーターエイドジャパンさんによる活動(報告書「西アフリカにおける衛生習慣の状況」)をアップしました。
<https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/index.html>
- ② 井上きみどりさんによる「正しい手洗い漫画」を各国現地語へ翻訳したものを、ダウンロードできるようになりました!
https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/handwashing_manga_other.html
- ③ 手洗い運動プラットフォーム第1回セミナー報告をアップします。(下記サイト内に近日公開)
<https://www.jica.go.jp/information/seminar/2020/index.html>



本ニュースレターに掲載・共有したい記事・写真・情報等を随時募集しています!
 ①配信/配信停止の希望、②記事掲載の希望、③本メールマガジンの表示不具合などのほか、ご不明な点やご要望、ご感想がございましたら、下記の編集・配信担当支援スタッフまでご連絡ください。

地球環境部 JICA 健康と命のための手洗い運動事務局

Web サイト <https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/index.html>

Handwashing@jica.go.jp

